

くらしと福祉・憲法を守るため 今年も大いに頑張ります

羽田新飛行ルートは撤回を

党区議団は、港区上空を低空で飛行する案を撤回させるため定例会ごとに質問しています。

今議会の代表質問で、①新飛行経路



案について「広報みなど」では「計画を理解する」と記され、区が認めたと誤解される。「了承や合意はしていない」との態度を明確にすべき。②落下物ゼロは不可能。区民の安全をどう守るか。③落下物、騒音・振動、マンションの資産価値低下など区民への影響が大きいため、国に再検討を求めよ。

区長は①了承や合意をしたことはない。②国に事故の未然防止の取り組みの一層の推進と丁寧な説明を強く求める。③国の責任で進めるべきもの。区民の意見や要望等について、きめ細かな説明等を行うよう申し入れる。と答えました。

町会の支援強化へ 共産党の提案が実る

区11月4月から、効果的支援策を実施

党区議団は、この間、町会支援を強める提案を繰り返し行ってきました。町会運営はどれも厳しさが増えています。特に小・中規模の町会は財政的にも深刻です。

この間の党議員の質問によって、「来年度の実施に向け、今年度中に支援策を取りまとめる予定」と区長が答えています。

さらに、昨年の決算委員会では、党区議団が条例提案するために検討してきた具体的支援策を示して質問しました。小規模な町会に手厚く支援

するもので、1人から150人の会員数の町会へ年間7万円をベースに支援。151人から300人までは6万円、301人から500人までは5万円という形で千人規模の町会まで支援する内容です。区は、「(共産党の)提案の趣旨も踏まえ、小規模な町会・自治会に対しても、その支援策の中で対応していく」と答えています。12月議会では、党区議団の質問に対して区長は、来年度予算に反映させる。効果的な支援策を実施する、と答えました。

核兵器廃絶キャンペーン I CANにノーベル平和賞

7月に国連で採択された核兵器禁止条約は人類史上初めて核兵器を違法化する歴史的意義をもつものです。採択への貢献が評価されたI CANにノーベル平和賞が授与されました。



核兵器禁止条約が採択された直後、歓喜に包まれる中央は、被爆者のサー・口節子さん

「パートナーシップ」の公的認証を 求める請願

賛成多数で可決…自民・維新が反対

同性同士で生活する人も家族として扱う「パートナーシップ」の認証制度の創設と、異性カップルに提供している行政サービスのうち同性カップルにも適応が可能などうか審査を求める請願署名1002名が提出されました。12月6日47名の傍聴者の中、総務常任委員会で審議されました。請願代表者は、「多様性を重視する港区でパートナーシップ制度が実現すると仲間はずれにされ、自分らしく生きることができるようになる」と早期の実現を訴えました。党委員は「差別のない社会の実現」「生きづらさを感じている方たちの困難を解決することは行政の役割」と採択を主張、採決の結果賛成多数で採択されました。



困ったときは
すぐ相談を
弁護士と区議会議員が
ご相談に応じます



大滝 実
建設常任委員長/交通・環境等
対策特別委員/エレベーター等対策
特別委員/議会運営委員



いのくま 正一
区民文教常任副委員長/交通・
環境等対策特別委員/議員団幹
事長



風見 利男
保健福祉常任委員/東京オリン
ピック・パラリンピック対策特別
委員長/議員団副幹事長



熊田 ちづ子
総務常任委員/行財政等対策特別
委員/議員団長